

1. 南区の自然条件

資料④

		特 徴
気 象	気 温	・年平均気温は 15.7℃と県内でも気温が高く、冬季は季節風により乾燥し晴天日が多いため、日照時間が 2,633 時間と県内最長となっています。
	降雨量	・年平均降水量は、2,153mm と県平均よりやや少なくなっています。
	風向・風力	・西からの風が強く、年平均風速は 3.3m/s と高めです。
地 形		・砂堆と堤間湿地を持つ海岸平野により形成されています。
地 質		・天竜川の沖積地、海岸平野は砂礫層、泥層、砂層から構成されます。沿岸の中田島砂丘は規模の大きい砂丘で、砂層が広く分布しています。

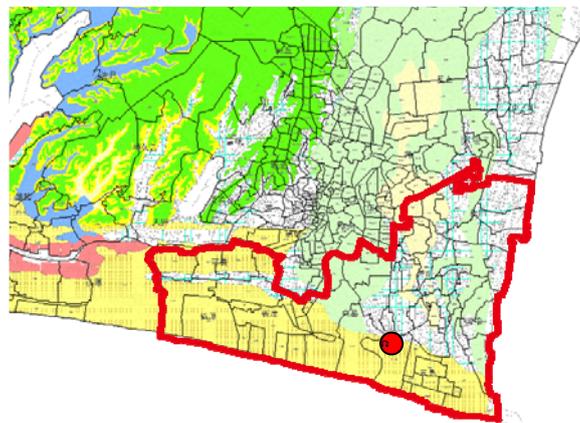
※砂堆：浅い海底の砂州、砂嘴（さし）の一種

※堤間湿地：浜堤（砂浜の海岸線に沿って形成される砂の高まり）の間にできる湿地で、排水が悪く、軟弱地盤である

※沖積地：沖積世に堆積した地層で成り、地盤が軟弱で地震による液状化などが比較的発生しやすい



南区の主な河川



【沖積世 泥質地盤】
・地下水位の高く緩い所では液状化現象が発生する恐れがある。

【沖積世 泥砂礫質地盤】
・軟弱な地盤の所が多い。

【沖積世 砂質地盤】
・比較的強い地盤だが、地下水位の高く緩い所では、液状化現象が発生する恐れがある。

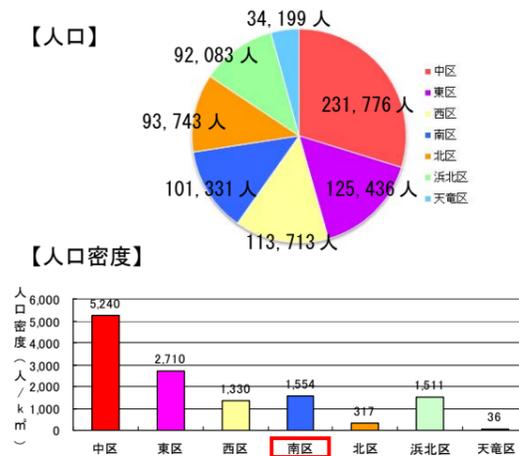
【沖積世 礫～砂礫質地盤】
・比較的強い地盤である。

南区の地質（資料：浜松防災マップ、第三次被災想定 表層地質図）

2. 南区の社会環境

①人口・世帯

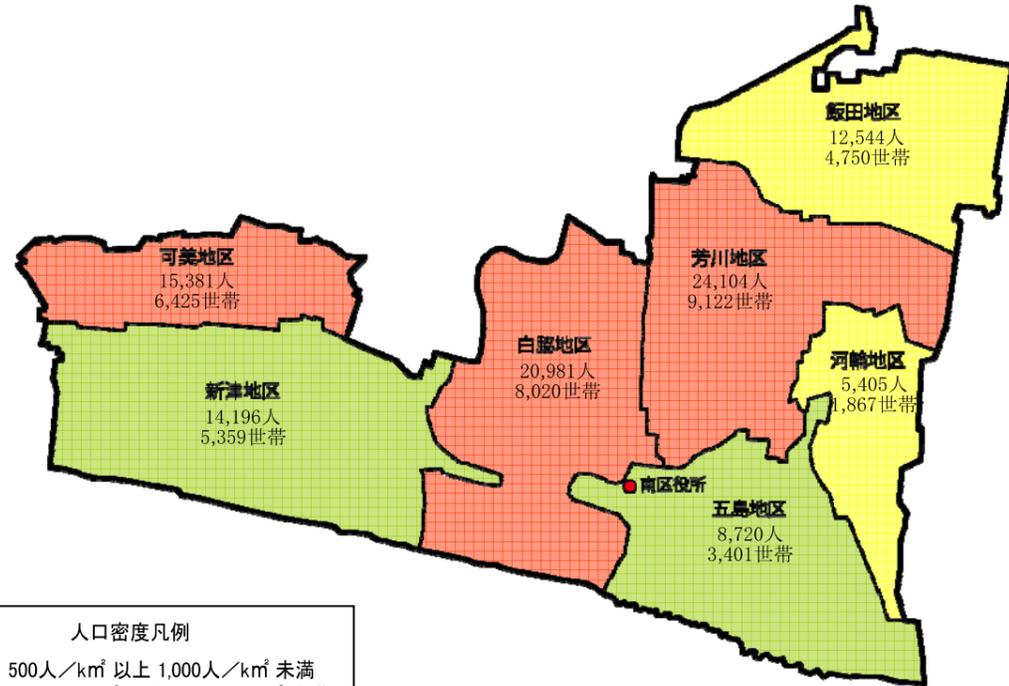
- ・南区は7地区に区分され、人口は約101,300人(平成23年10月1日現在)となっています。
- ・人口は、「白脇、芳川地区」で多くなっており、人口密度で比較すると可美地区が最も高い値となっています。
- ・浜松市内では3番目に高い人口密度となっています。



■南区における地区別の人口・世帯数

	白脇地区	新津地区	五島地区	河輪地区	芳川地区	飯田地区	可美地区	合計
地区面積(km ²)	8.30	9.71	6.98	3.42	8.03	6.53	4.05	47.02
人口(人)	男	10,510	7,022	4,259	2,667	12,023	6,374	50,941
	女	10,471	7,174	4,461	2,738	12,081	6,170	50,390
	合計	20,981	14,196	8,720	5,405	24,104	12,544	101,331
世帯数(世帯)	8,020	5,359	3,401	1,867	9,122	4,750	6,425	38,944
人口密度(人/km ²)	2,528	1,463	1,249※	1,579※	3,001※	1,921※	3,797	15,539

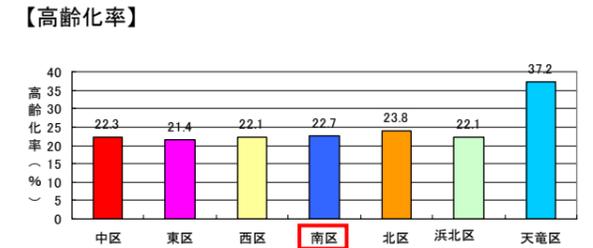
(資料：浜松市統計書、住民基本台帳)
※天竜川河川敷の面積を含む人口密度



南区における地区別の人口・世帯数と人口密度

②高齢化率

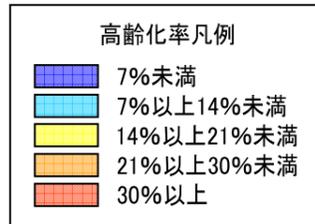
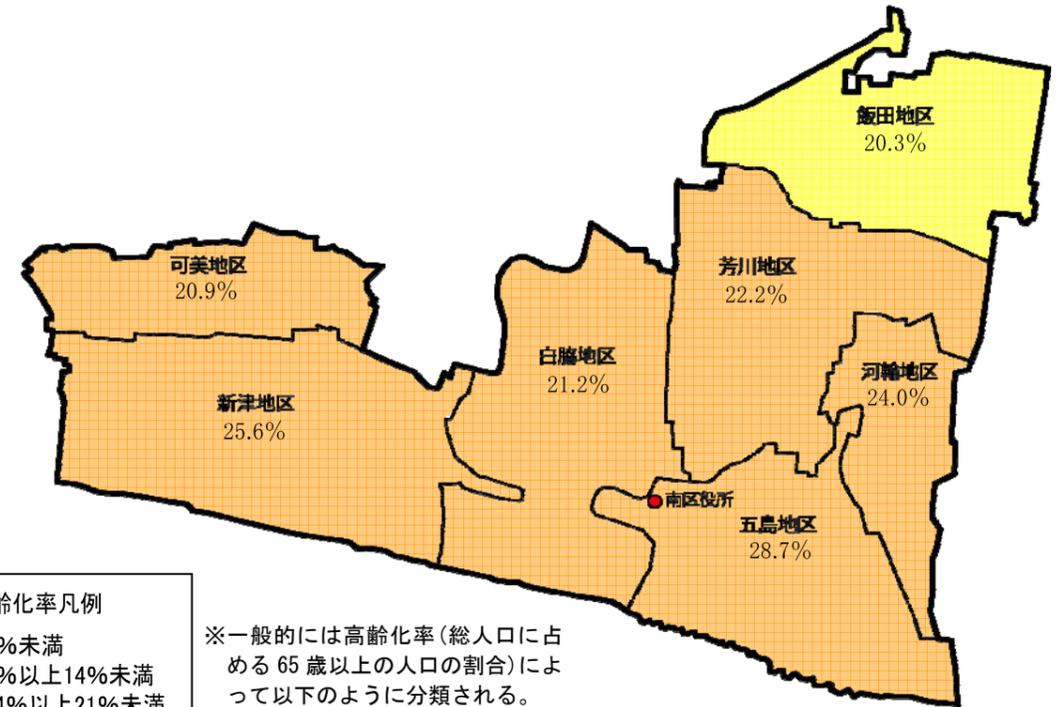
- ・南区の高齢化率は約22.7%で、市平均値(24.5%)を下回っています。
- ・地区別では「五島地区」が最も高く約29%、「白脇、飯田、可美地区」は比較的低く21%程度となっています。



■南区における地区別の年齢別人口と高齢化率

	白脇地区	新津地区	五島地区	河輪地区	芳川地区	飯田地区	可美地区	合計	備考
年齢別人口(人)	15歳未満	3,131	2,005	1,177	717	3,466	1,825	2,066	14,387
	15~64歳	13,398	8,560	5,037	3,391	15,295	8,169	10,093	63,943
	65歳以上	4,452	3,631	2,506	1,297	5,343	2,550	3,222	23,001
	合計	20,981	14,196	8,720	5,405	24,104	12,544	15,381	101,331
高齢化率(%)	21.2	25.6	28.7	24.0	22.2	20.3	20.9	22.7	浜松市 24.5%

(資料：住民基本台帳(平成23年10月1日))



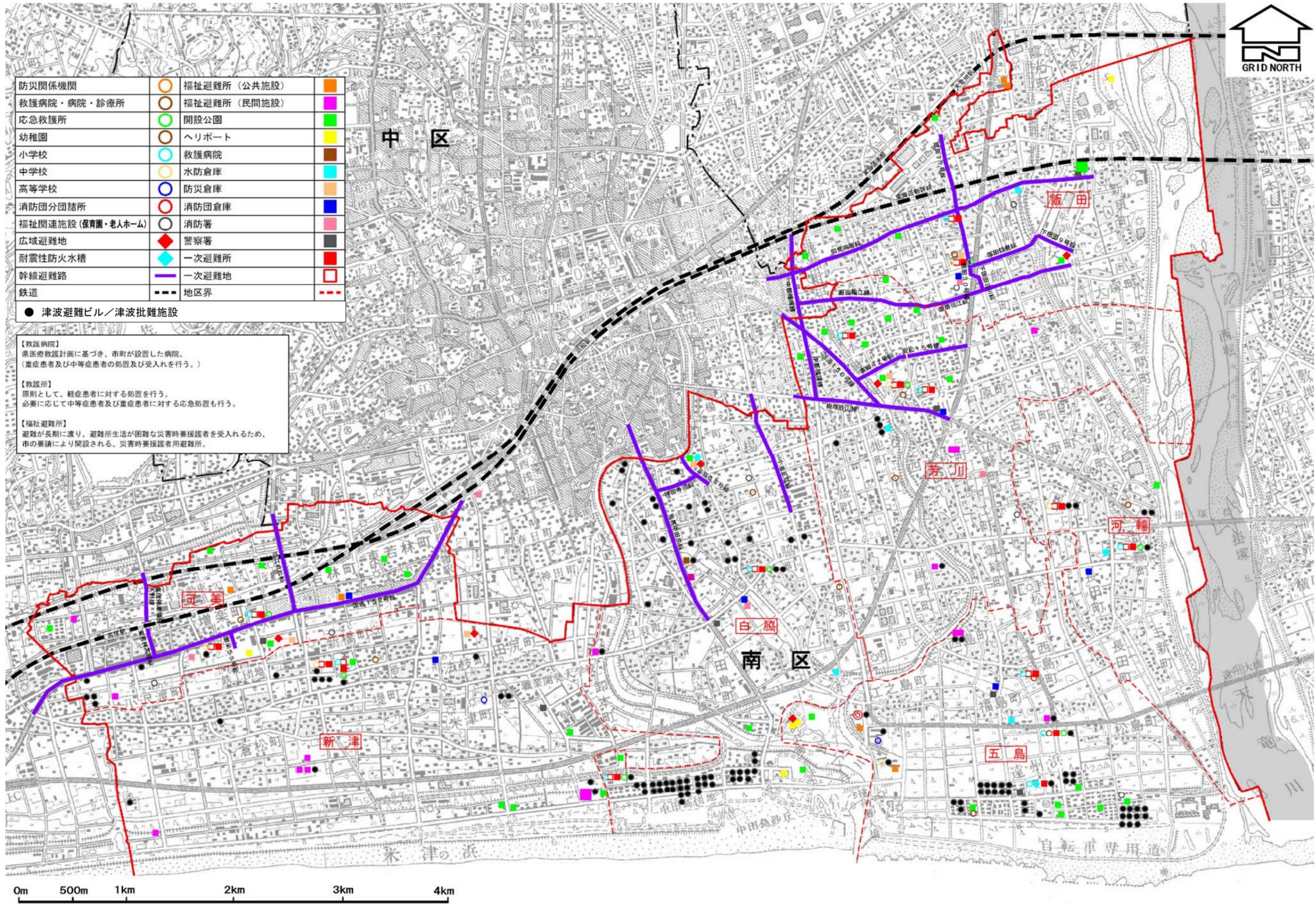
※一般的には高齢化率(総人口に占める65歳以上の人口の割合)によって以下のように分類される。

- ・高齢化社会 : 7~14%
- ・高齢社会 : 14~21%
- ・超高齢化社会 : 21%以上

南区における地区別の高齢化率

2. 南区の社会環境 (その2)

③災害に関する施設配置



④自主防災隊

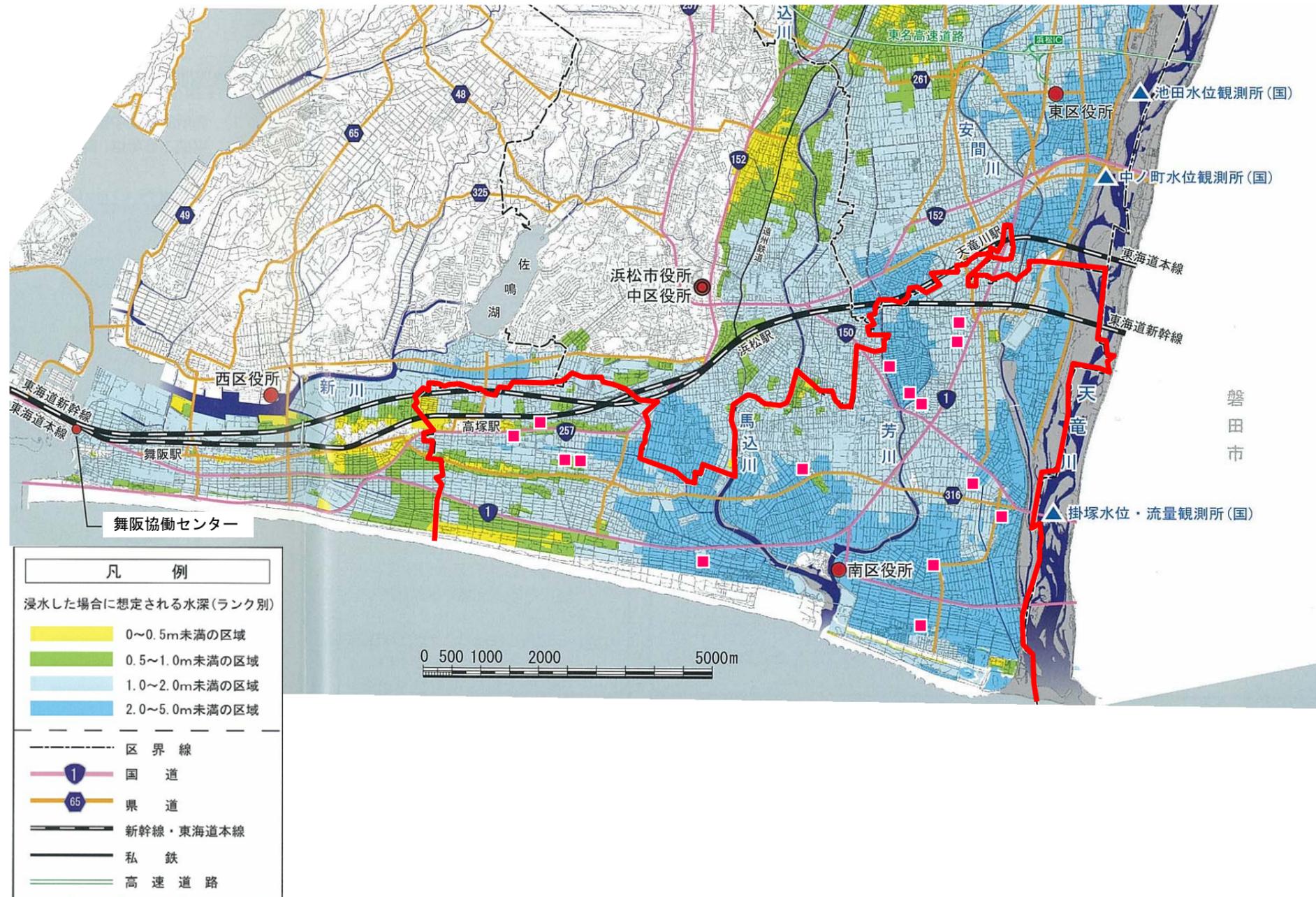
各地区において、以下のような自主防災隊が結成されています。

白脇	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	自主防災隊名	三島町	寺脇町	福塚町	中田島町	砂丘	白羽町	瓜内町	楊子町	サンコーボラス浜松						
	世帯数	1,860	800	49	361	1,350	880	1,020	950	95						
新津	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
	自主防災隊名	新橋町東	新橋町西	小沢渡町	小沢渡町西	倉松町	堤町	米津町	田尻町	法枝町	御本町					
	世帯数	667	826	820	153	426	228	664	225	148	236					
五島	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
	自主防災隊名	西島町東	西島町西	松島町	江之島町	福島町	遠州浜第一	遠州浜第二	遠州浜第三	遠州浜第四	遠州浜公園住宅					
	世帯数	193	215	262	111	133	410	635	650	360	300					
河輪	図面番号	1	2	3	4	5	6	7								
	自主防災隊名	東町	西町	河輪町上	河輪町下	三新町	長田町	富屋町								
	世帯数	330	404	245	184	197	140	140								
芳川	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	自主防災隊名	石原町	安松町	芳川町神出	芳川町大橋	本郷町	本郷町東	頭陀寺町	参野町	恩地町	都盛町	大柳町	崩野町	御給町	下江町	
	世帯数	362	1,280	250	640	425	1,150	704	540	674	266	155	95	144	214	
	図面番号	15	16	17	18	19	20	21	22							
	自主防災隊名	四本松町	立野町	古川町	金折町	西伝寺町	老間町	老間団地	県営芳川団地							
飯田	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	自主防災隊名	渡瀬町	三和町	飯田町田畑	飯田町上組	飯田町新田	飯田町西	飯田町開戸	下飯田町	鶴見町東	鶴見町西	新貝町	大塚町	南天竜	青屋町	
	世帯数	965	950	143	373	86	620	265	135	93	292	203	116	86	420	
可美	図面番号	1	2	3	4	5	6	7								
	自主防災隊名	高塚町南	高塚町北	増楽	若林東	若林西	若林北	東若林								
	世帯数	730	748	1,000	710	590	695	1,000								

⑤ハザードマップ

【天竜川の浸水想定区域】

- ・天竜川流域でおおよそ150年に1度程度の大雨（流域全体の2日間の総雨量が318mm）による氾濫を想定した場合の浸水範囲と水深は、以下のようになっています。区のほぼ全域で浸水深1.0～5.0mと想定されています。
- ・天竜川が氾濫した場合、南区内の施設は「避難所」として利用できません。（いずれの小中学校も浸水深0.5m以上であるため、避難所指定されていない）
- ・緊急時に2階以上のみ避難所として利用できる「洪水時緊急避難施設」は15箇所の小中学校で指定されています。



■洪水時緊急避難施設

	名 称	浸水時に利用できる階	
		2	3
南区	白鷺小学校		3
	砂丘小学校		3 4
	新津小学校	2	3 4
	新津中学校	2	3
	五島小学校		3 4
	遠州浜小学校		3 4
	河輪小学校		3 4
	東陽中学校	2	3 4
	芳川小学校	2	3 4
	南陽中学校		3 4
	芳川北小学校		3 4
	飯田小学校	2	3 4
	東部中学校	2	3 4
	可美小学校	2	3 4
	可美中学校	2	3 4

- ・天竜川の氾濫の恐れがある場合、0.5m以上の浸水が予想される小中学校等は避難所として使用できません。
- ・「洪水時緊急避難施設」は、天竜川が氾濫した時は浸水水位が深い場所に立地しているため施設の低い階は使用できず、「避難が遅れた人が緊急的に利用する施設」として指定されています。

- ：避難所（指定なし）
- ：洪水時緊急避難施設

【安間川・馬込川・新川の浸水想定区域】

- ・安間川、馬込川、新川の3河川が大雨（安間川：63.1mm/h、馬込川：72.5mm/h、新川：65.8mm/h）による氾濫を想定した場合の浸水範囲と水深は、以下のようになっています。
- ・南区においては、馬込川、芳川、安間川周辺の広範に渡り1.0m未満の浸水が想定されています。（一部1.0～2.0m未満の箇所あり）



■避難所一覧

	名 称	所 在 地
南区	飯田小学校	飯田町978
	芳川北小学校	頭陀寺町1046-1
	芳川小学校	芳川町206-1
	東陽中学校	西町700
	五島小学校	西島町510
	白脇小学校	寺脇町431
	砂丘小学校	白羽町2512
	新津小学校	新橋町777
	新津中学校	新橋町748
	可美小学校	若林町1748
可美中学校	増楽町700	

・浸水しない場所、あるいは浸水しても浅い（水深0.5m未満）場所□にある小中学校等が「避難所」として指定されています。

凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0～0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域

--- 区界線

① 国道

⑥⑤ 県道

— 新幹線・東海道本線

— 私鉄

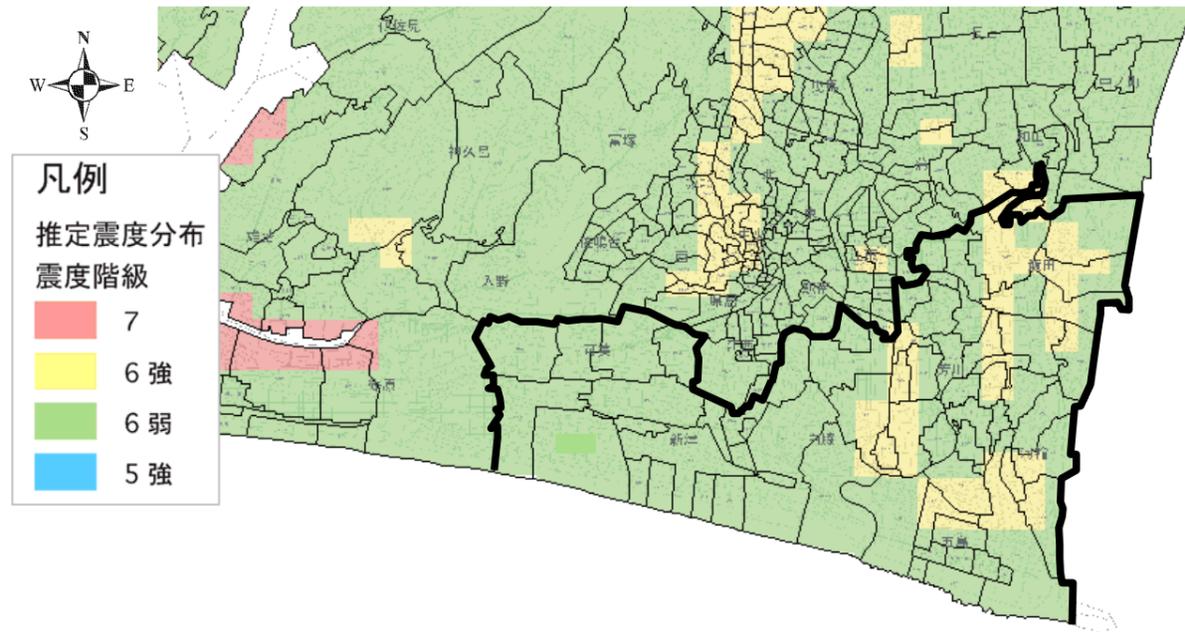
— 高速道路

■：避難所

⑥地震被害想定（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

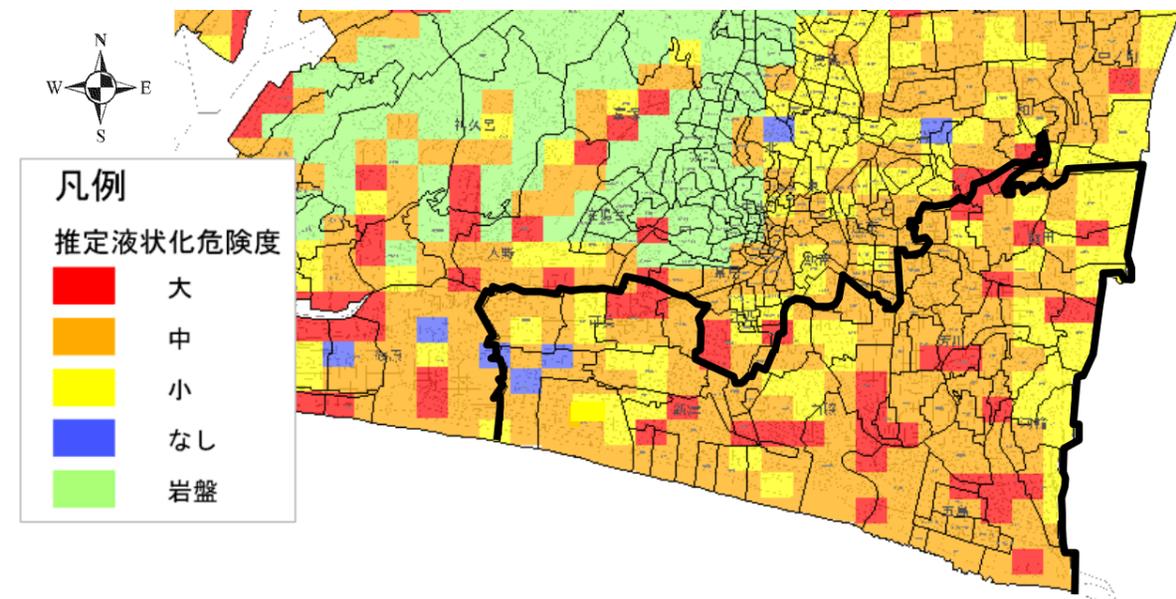
【推定震度分布】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定震度分布は下図のとおりです。
- ・区全体は概ね「震度6弱」であり、一部芳川周辺において「震度6強」と想定されています。



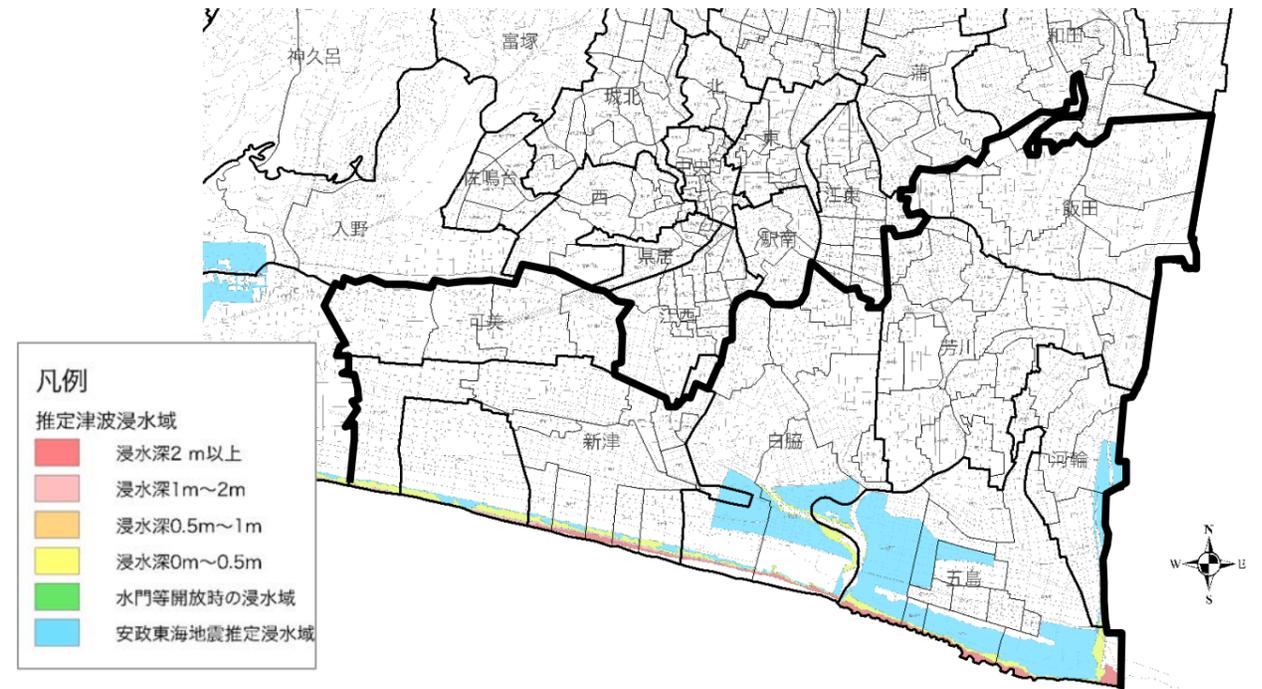
【推定液状化危険度】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定液状化危険度は下図のとおりです。
- ・区全体は概ね危険度「小～中」と想定されています。危険度「大」と想定されているのは主に馬込川、芳川、安間川周辺となっています。



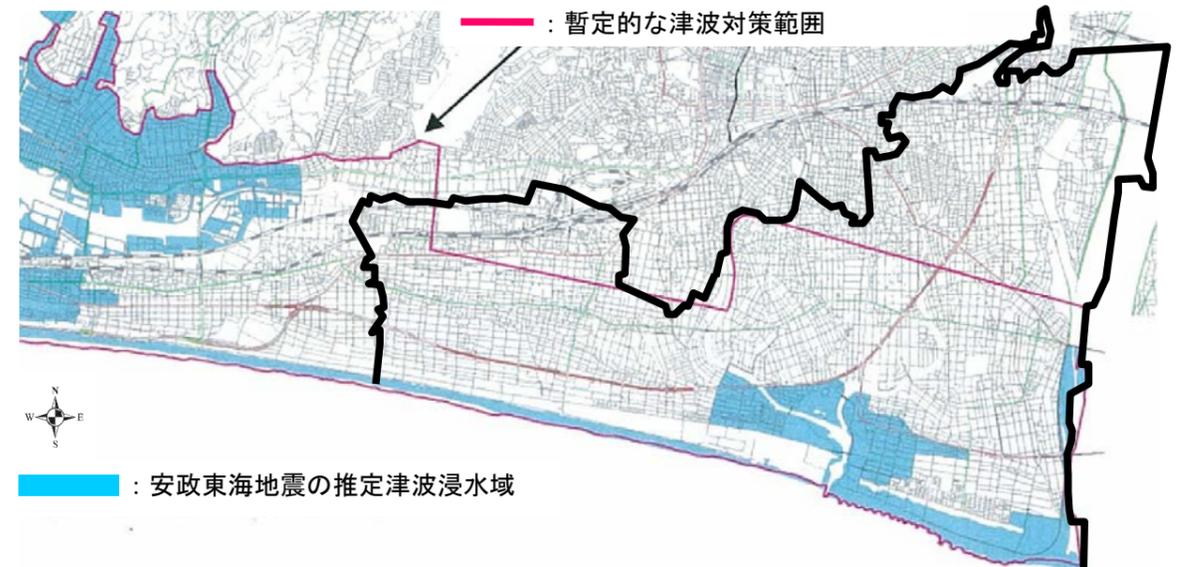
【推定津波浸水域】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定津波浸水域は下図のとおりです。
- ・沿岸部で浸水深0.5～2m以上、馬込川河口部で浸水深0～0.5mと想定されています。



【津波対策範囲（暫定）】

- ・浜松市津波対策委員会では、暫定的な津波対策範囲として「安政東海地震の推定津波浸水域+2km」を設定し、津波対策について検討を進めています。
- ・今後発表される中央防災会議及び県の被害想定を踏まえ、津波対策範囲を見直していく予定です。

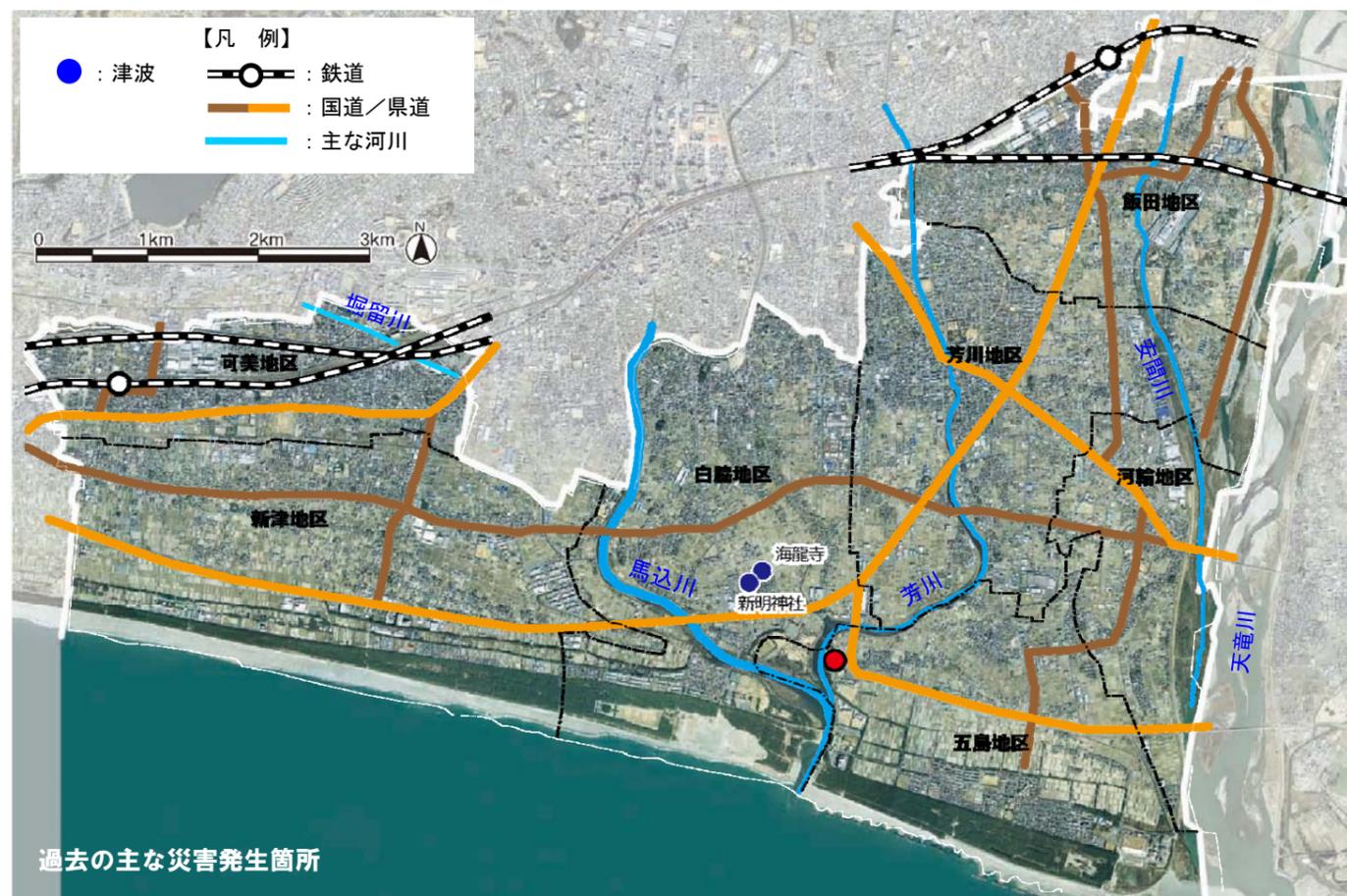


3. 南区における過去の災害履歴

- ・天竜川河口に隣接し、馬込川河口に位置するため、これら河川氾濫による浸水被害も多く発生してきました。
- ・また、大地震に伴って度々津波も発生してきました。

■南区における既往災害履歴

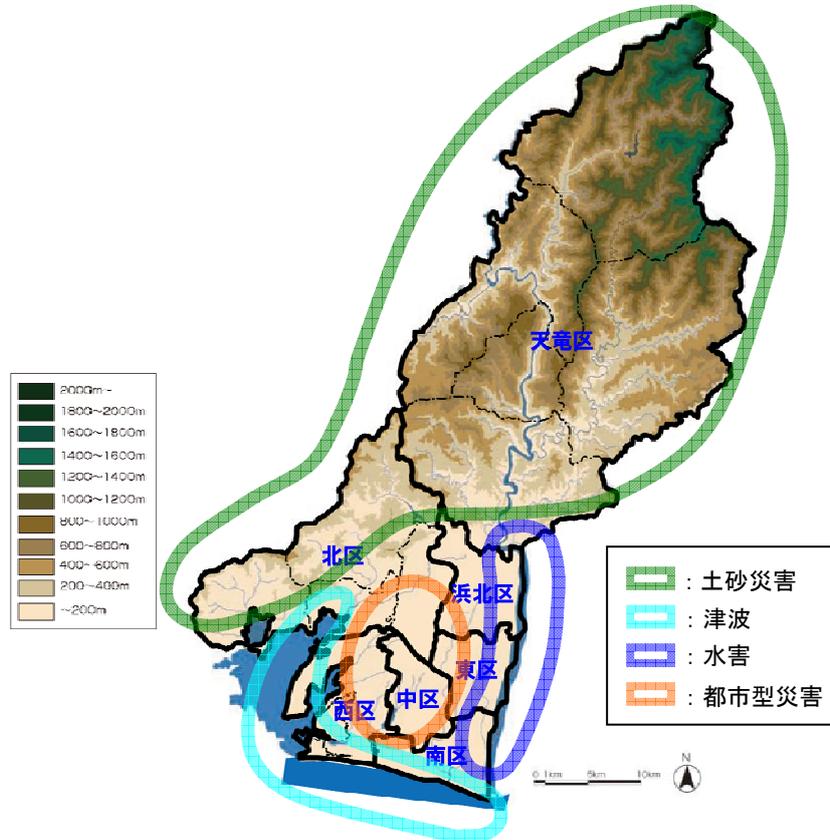
西暦	和暦	災害	被害概要	地震	風水害	津波・高潮	土砂災害
1498	明応7	明応地震(推定M=8.0~8.4)	・津波襲来(新明神社) ・浜名湖南部では30ha余が海なり、溺死者1万人余と推定	○		○	
1604	慶長9	慶長地震(推定M=7.9)	・津波地震により大きな津波の励起されたため、大規模な被害を生じたものと推測(舞阪(西区)では船が山際まで打ち上げられ20艘あまりの釣り船が行方不明)	○		○	
1707	宝永4	宝永地震(推定M=8.4~8.7)	・大規模な被害を生じたものと推定(舞阪で津波高さ5.3mと推定)	○		○	
1718	享保3	馬込川堤決 天竜川洪水	・浸水 ・飯田村(飯田地区)の天竜川堤切、水押入		○		
1854	安政1	安政東海地震(推定M=8.4)	・海龍寺(白脇地区)に津波が押し寄せた記録あり ・津波が天竜川を遡り河口から3km上流で4.5mに達したとされている	○		○	
		天竜川洪水	・天竜川西岸、飯田村(飯田地区)、上飯田地内村東・河輪町・弥助新田(河輪地区)などで破堤		○		
1907	明治40	大雨	・天竜川・浜名郡河輪(河輪地区)で堤腹約80間決壊		○		
1932	昭和7	馬込川・新川氾濫	・浜松地方床上浸水25棟、床下浸水793棟		○		
		馬込川氾濫	・浜松地方で床上浸水646棟、床下浸水6400棟		○		
1935	昭和10	大雨	・浜松地方で出水、床上浸水148棟、床下浸水4596棟		○		
1944	昭和19	東南海地震(推定M=7.9、震度5~6)	・津波高さ推定6m以下 ・白脇地区:全壊23戸、半壊33戸/芳川地区:全壊67戸、半壊57戸、河輪地区:全壊57戸、半壊97戸、五島地区:全壊42戸、半壊86戸/新津地区:全壊2戸、	○		○	
1971	昭和46	台風23号	・可美村(可美地区)で床上浸水4棟、床下浸水71棟		○		



■南区の災害特性

■浜松市の災害特性と区版避難行動計画策定の進め方

- ・浜松市の災害特性は、地形や市街地の形成過程などから、大きくは下図に示すように、「土砂災害」「津波」「水害」「都市型災害」の4つに分類されます。
- ・区版避難行動計画の策定にあたっては、主に区の特徴的な災害について議論しながら進めます。



【自然条件】

- ・天竜川が形成した沖積地、及び砂礫層、泥層、砂層により構成される海岸平野からなっています。

【災害の履歴】

- ・天竜川、馬込川の氾濫による洪水被害が多いとともに、大地震による津波被害も記録されています。

【ハザードマップ・地震被害推定】

- ・天竜川や馬込川の氾濫を想定した浸水区域が定められています。
- ・静岡県第3次被害想定では、地震の揺れ以外に液状化や津波による被害も推定されています。

■各区の災害特性一覧

区	地震	水害	津波	土砂災害
中区	◎	○		○
東区	○	◎		
西区	○	○	◎	○
南区	○	○	◎	
北区	○	○	○	◎
浜北区	○	◎		○
天竜区	○	○		◎